

iClever

折りたたみワイヤレスキーボード

IC-BK06lite 取扱説明書

パッケージ内容

- ・ワイヤレスキーボード ×1
- ・ホルダー ×1
- ・マイクロ USB ケーブル ×1
- ・取扱説明書 ×1

仕様

Bluetooth バージョン : Bluetooth5.1

折りたたみサイズ : 313.4*92.8*7.5 mm / 12.34*3.65*0.3in

受信距離 : <10m / 32.8ft

リチウム電池容量 : 110mAh

充電時間 : <2 時間

連続使用時間 : 40 時間

待機時間 : 30 日

表面材質 : ABS

裏面材質 : PU

インジケーター

低電力モード : バッテリー残量が少なくなると赤色で点滅します。

充電中 : 赤色で点灯します。

フル充電 : 満充電になると消灯します。

パワーオン／オフ : キーボードを開いて、電源スイッチをオンにします。電源インジケーターが 3 秒ほど緑色で点灯した後、消灯します。

ペアリング : 「コネクト」ボタンを押すとペアリングモードに入ります。

ペアリングモード : 青色で点滅します。

ペアリング完了 : 自動的に消灯します。

マイクロ USB 充電ポート : 充電用

※当キーボードはキャップスロックインジケーターが付いておりませんが、キャップスロックキーで大文字・小文字の切り替えが可能です。

操作手順

ペアリングがうまくできないとき：

デバイスの Bluetooth 接続記録を削除してください。

デバイスの Bluetooth をオフにした後、再度オンにしてください。

ペアリング手順

●1 台目のデバイスのペアリング

1. キーボードを開いて、電源スイッチをオンにします。

2. Fn+Q を押すとチャンネル 1 に入り、状態インジケーターが素早く青色で点滅します。

3. Connect ボタンを押すと、状態インジケーターがゆっくり青色で点滅し、ペアリングモードに入ります。デバイスの Bluetooth 機能をオンにして、使用可能なデバイスを検索します。

4. 「iClever IC-BK06 Lite Keyboard」という名の Bluetooth キーボード名をクリックして接続します。

5. 接続されると、状態インジケーターが消灯します。

●2 台目のデバイスのペアリング

1. Fn+W を押すとチャンネル 2 に入り、状態インジケーターが素早く青色で点滅します。

2. Connect ボタンを押すと、状態インジケーターがゆっくり青色で点滅し、ペアリングモードに入ります。デバイスの Bluetooth 機能をオンにして、使用可能なデバイスを検索します。

3. 「iClever IC-BK06 Lite Keyboard」という名の Bluetooth キーボード名をクリックして接続します。

4. 接続されると、状態インジケーターが消灯します。

●3 台目のデバイスのペアリング

1. Fn+E を押すとチャンネル 3 に入り、状態インジケーターが素早く青色で点滅します。

2. Connect ボタンを押すと、状態インジケーターがゆっくり青色で点滅し、ペアリングモードに入ります。デバイスの Bluetooth 機能をオンにして、使用可能なデバイスを検索します。

3. 「iClever IC-BK06 Lite Keyboard」という名の Bluetooth キーボード名をクリックして接続します。

4. 接続されると、状態インジケーターが消灯します。

接続された 3 つのデバイスを切り替えるには？

Fn+Q もしくは Fn+W もしくは Fn+E を同時に押して切り替えます。

接続されているチャンネルを再ペアリングするには？

チャンネル 1（または 2、3）をデバイス 1 と既に接続していて、他のデバイスをチャンネ

ル1と接続したい場合、次の手順で操作してください。

- 1.Fn+Q を押すとチャンネル1に入ります。
- 2.Connect ボタンを押すと、状態インジケーターがゆっくり青色で点滅し、ペアリングモードに入ります。デバイスの Bluetooth 機能をオンにして、使用可能なデバイスを検索します。
- 3.「iClever IC-BK06 Lite Keyboard」という名の Bluetooth キーボード名をクリックして接続します。
- 4.接続されると、状態インジケーターが消灯します。

ご注意：

- 1.再接続機能：キーボードの電源をオンにすると、最後に使用したデバイスと自動的に接続します。（接続デバイスの Bluetooth 機能をオンにしてください。）
- 2.ペアリングに失敗した場合は、デバイスからペアリング履歴を削除し、上記の手順を再度試してみてください。

キーボード機能（ご使用の接続先デバイスの OS によって、各機能が実行されます。）

Fn+F1 の同時押し：ios ではホーム、Android ではホームあるいは機能なし、Windows ではウェブブラウザ。

Fn+Shift+F1 の同時押し：Windows では F1。

Fn+F2 の同時押し：ios では検索、Android ではブラウザで検索あるいは機能なし、Windows ではブラウザで検索。

Fn+Shift+F2 の同時押し：Windows では F2。

Fn+F3 の同時押し：ios では明るさダウン、Android では明るさダウン、Windows では明るさダウン。

Fn+Shift+F3 の同時押し：Windows では F3。

Fn+F4 の同時押し：ios では明るさアップ、Android では明るさアップ、Windows では明るさアップ。

Fn+Shift+F4 の同時押し：Windows では F4。

Fn+F5 の同時押し：ios では曲戻し、Android では曲戻し、Windows では曲戻し。

Fn+Shift+F5 の同時押し：Windows では F5。

Fn+F6 の同時押し：ios では再生・一時停止、Android では再生・一時停止、Windows では再

生・一時停止。

Fn+Shift+F6 の同時押し : Windows では F6。

Fn+F7 の同時押し : ios では曲送り、Android では曲送り、Windows では曲送り。

Fn+Shift+F7 の同時押し : Windows では F7。

Fn+F8 の同時押し : ios では静音、Android では静音、Windows では静音。

Fn+Shift+F8 の同時押し : Windows では F8。

Fn+F9 の同時押し : ios ではボリュームダウン、Android ではボリュームダウン、Windows ではボリュームダウン。

Fn+Shift+F9 の同時押し : Windows では F9。

Fn+F10 の同時押し : ios ではボリュームアップ、Android ではボリュームアップ、Windows ではボリュームアップ。

Fn+Shift+F10 の同時押し : Windows では F10。

Fn+F11 の同時押し : ios ではスクリーンショット、Android ではスクリーンショット、Windows ではスクリーンショット (Windows では、ペイントなどのアプリで画像保存をしていただく必要があります。)。

Fn+Shift+F11 の同時押し : Windows では F11。

Fn+F12 の同時押し : ios ではロックスクリーン、Android ではロックスクリーン、Windows では機能なし。

Fn+Shift+F12 の同時押し : Windows では F12。

Fn+Ctrl の同時押し : ios ではキーボードディスプレイキー (仮想キーボードの表示・非表示) として機能します。

Fn+左 Alt の同時押し : Mac では「英数」キーとして機能します。Windows では「無変換」キーとして機能します。

Fn+右 Alt の同時押し : Mac では「かな」キーとして機能します。Windows では「変換」キーとして機能します。

Fn+カタカナひらがなローマ字キーの同時押し : Windows ではカタカナひらがなローマ字が

有効になります。

Fn+Esc の同時押し : ios では Esc、Android では Esc、Windows では Esc。

Fn+Pgup の同時押し : ios では前のページ (OS バージョンによって機能しない場合があります。) 、Android では前のページ、Windows では前のページ。

Fn+Pgdn の同時押し : ios では次のページ (OS バージョンによって機能しない場合があります。) 、Android では次のページ、Windows では次のページ。

Fn+home の同時押し : ios では行頭 (OS バージョンによって機能しない場合があります。) 、Android では行頭、Windows では行頭。

Fn+end の同時押し : ios では行末 (OS バージョンによって機能しない場合があります。) 、Android では行末、Windows では行末。

ご使用の接続先デバイスの設定にて、キーボードレイアウトを「日本語キーボード(106/109キー)」や「JIS」に変更することで、下記の文字入力が可能です。

Shift+F2 の同時押しは、ダブルクオーテーション。

Shift+F6 の同時押しは、アンド。

Shift+F7 の同時押しは、シングルクオーテーション。

Shift+F8 の同時押しは、かっこ。

Shift+F9 の同時押しは、かっこ閉じ。

Shift+F11 の同時押しは、イコール。

F12 は、キャレット。

Shift+F12 の同時押しは、チルダ。

波かっこ (P キーの右隣りのキー) は、アットマーク。

Shift+波かっこ (P キーの右隣りのキー) の同時押しは、バッククオート。

波かっこ閉じ (P キーの右隣りのキーの、そのまた右隣りのキー) は、角かっこ。

Shift+波かっこ閉じ (P キーの右隣りのキーの、そのまた右隣りのキー) の同時押しは、波かっこ。

Shift+コロン (L キーの右隣りのキー) の同時押しは、プラス。

ダブルクオーテーション (Enter キーの左隣りのキー) は、コロン。

Shift+ダブルクオーテーション (Enter キーの左隣りのキー) は、アスタリスク。

パイプ (Enter キーの上、一番右端のキー) は、角かっこ閉じ。

Shift+パイプ (Enter キーの上、一番右端のキー) は、波かつこ閉じ。

iOS/iPadOS16.1 以降のデバイスでは、iPhone/iPad の設定にてキーボードを「日本語配列」として認識させることができます。

設定手順：

1. 接続先 iPhone/iPad の設定>一般>キーボード>ハードウェアキーボード（キーボード接続時に表示されます）>Keyboard Type>「JIS」を選択してください。
2. メモ帳などのアプリを一度閉じてください。
3. 再度メモ帳などの文字入力アプリを起動していただくと、上記の文字入力が使用できるようになります。

※当設定（JIS 日本語配列への設定）をした場合、同じキーに印字されている一部の白色/黒色の印字（US 英語配列対応記号、例：Shift+F2 の同時押しでアットマークを入力するなど）は使用できません。

付属ホルダー

スマートフォンとタブレットどちらも立てかけられる便利なホルダーです。

推奨 Bluetooth バージョン：Bluetooth3.0 以降

※Bluetooth2.1 以前のデバイスは、接続や動作が正常に行われない可能性があります。

※外付け Bluetooth アダプターは、機種の互換性により接続や動作が正常に行われない可能性があります。

下記のデバイスや OS・使用方法は、非対応機種であったり、互換性不良による接続・動作エラーが起こる可能性があります。予めご注意ください。

- iPad mini5、Mac mini、Lenovo yoga Tab11、Nokia スマホ、Amazon Fire TV Stick、Samsung Smart TV (UE37ES5500/UE55KU6400U/UE48JU6400)、推奨バージョンの Bluetooth が搭載されていないデバイス
- AndroidOS12、FireOS、ChromeOS、Linux、他商品ページに対応の記載がされていない OS
- リモートデスクトップ、Mac Boot Camp

Android デバイスをご使用のお客様へ :Android デバイスは機種や OS により仕様が異なるため、ご使用の接続先 Android デバイスの仕様上、一部非対応の機能が生じる可能性があります。

折りたたみキーボードの回路はフルキーボードと異なるため、一部のショートカットキー（複数キーの同時押し）が機能しない可能性があります。

仕様上 **Ctrl+Fn** を同時に押すと、どの **OS** であっても「仮想キーボード表示」のコマンドが認識されます。そのため、**Ctrl+Fn+▲pgup/▼pgdn** などのショートカットキーは機能しない場合があります。

省エネモード

30分間操作しない場合、キーボードが自動的にスリープモードになります。

再起動するには、任意のキーを押して3秒ほどお待ちください。

充電

1. 付属される **USB** 充電ケーブルを使って充電してください。

※充電ケーブルは付属していますが、同じ端子であれば市販のものも使用可能です。

ケーブルの一端を **USB** チャージャーと接続し、もう一端をキーボードに接続してください。
(**USB** チャージャーは別売りです。)

2. 充電中は電源インジケーターが赤色で点灯します。充電完了まで約2時間かかります。 (入力 : **DC5V/500mA**)

FAQ

Q.デバイスと接続できない

下記の手順に従って操作してください。

①**Bluetooth** 機能がオンになっていることを確認してください。

②デバイスの **Bluetooth** 接続記録を削除してください。

③デバイスの **Bluetooth** をオフにした後、再度オンにして接続をご確認ください。

④デバイスとキーボードの距離をできるだけ近づけてください。

⑤キーボードとデバイスをフル充電してください。

⑥デバイスを再起動してください。

カスタマーサービス E メール : support@iclever.co.jp

(平日 9~18 時、土日祝・年末年始休)